# 会　議　録

1　会議名

令和８年度第６回三和区地域協議会

2　議題（公開・非公開の別）

（１）報告事項（公開）

・上越市地域にぎわい事業補助金の評価及び地域ビジョンの作成等について

（２）自主的な審議（公開）

・三和の自然環境を守りながら、持続可能な農業を目指す取組について

・地域コミュニティを維持するための仕組みづくりについて

（３）その他（公開）

3　開催日時

令和８年９月３０日（水）午後６時３０分から午後７時４５分まで

4　開催場所

三和コミュニティプラザ　３階　多目的ホール

5　傍聴人の数

―

6　非公開の理由

―

7　出席した者（傍聴人を除く）氏名（敬称略）

・委　員：髙橋（鉄）委員（会長）、五十嵐委員、池田委員、江口委員、星野委員、松井委員、松栄委員、宮澤委員、宮嶋委員、茂木委員、渡邉委員（３人欠席）

・事務局：三和区総合事務所　丸田所長、小山次長、佐藤市民生活・福祉グループ兼教育・文化グループ長、江口地域振興班長、藤澤班長

8　発言の内容（要旨）

【議題：上越市地域にぎわい事業補助金の評価及び地域ビジョンの作成等について】

■　事務局が説明

・地域自治区制度の見直しに伴う新たな地域活動支援制度として、上越市地域にぎわい事業補助金を創設し、令和９年度実施事業の募集を令和８年９月１日から開始した。

・本補助金は、自主財源の確保が困難な団体でも取り組みやすい制度とするため、補助率を最大１０分の１０としたほか、提案期限を１２月２８日まで延長し、提案内容につ

いて総合事務所等と相談しながら作成できる仕組みとしている。
・令和９年度の予算総額は１億８千万円を基礎として各区の上限額を設定しているが、一部区において現在の事業規模が上限額を超える状況を踏まえ、令和９年度に限り２千万円を加算し総額２億円とする計画で、三和区の上限額は６６０万円となる見込みである。
・令和９年度実施事業の提案受付は既に開始しており、三和区では現時点で１件の事前相談を受けている。
・新たな地域づくりの担い手や団体の発掘を目的として、活動の初動期を支援する「にぎわいスタートアップ事業補助金」の制度創設に向け、現在制度設計及び予算調整を進めている。
・地域にぎわい事業補助金の採択に当たっては、地域協議会が地域の実情や課題を踏まえた評価を行うこととされており、評価項目は①地域ビジョンへの適合性、②地域への貢献度、③多様な主体の参画度、④活動の実現性・効率性、⑤将来への発展性・期待度の５項目としている。
・提案募集は令和８年１２月２８日に締め切り、事務局による整理を経て、地域協議会において令和９年２月から３月頃に評価作業を行う予定。
・地域ビジョンについては、地域の多様な主体が地域課題に対応するための共通の指針として位置付けるものであり、地域協議会の自主的審議の参考とするほか、地域にぎわい事業補助金の提案事業評価や地域運営組織の検討などに活用する。
・地域ビジョンは、①目指す地域像、②地域の現状・特徴・魅力・課題、③地域の現状の対応方針を基本構成とし、必要に応じて重要テーマや年次計画などを追加できる。
・地域ビジョンは令和９年７月末までに作成することとし、関係団体から意見聴取を行うことも可能だが、作成を支援するため補助金を活用した外部委託は認めない。
・委員の負担軽減を図るため、現在の地域活性化の方向性を更新して活用する方法や、既存計画を転用する方法も可能である。
・地域ビジョンは毎年度見直しが可能であり、作成後は市ホームページで公表される予定としている。

■　質疑応答
・質問／意見：今回の補助金制度について、市民全体を対象とした公開説明会の開催状況を確認したい。
　　回答：９月８日に市民プラザにおいて説明会を開催したほか、同内容のオンライン説明会も併せて実施した。
・質問／意見：地域ビジョンの作成は地域協議会委員のみで行うのか、それとも事務局も関わりながら進めるのか確認したい。
　　回答：現在の地域活性化の方向性は前期委員が作成したものであり、現状の課題認識と大きく乖離しているものではないと考えている。事務局も叩き台の作成や検討に関与し、委員と協働しながら作成を進める予定である。

【自主的審議：Ａ：三和の自然環境を守りながら、持続可能な農業を目指す取組について】

■　Ａグループの協議概要

・自主的審議の取組として進めてきた「三和まるごと味覚祭」について、開催まで１か月を切り、準備が本格化している。
・チラシの全戸配布が完了し、地域から反響が寄せられ、地域行事等でイベントの周知が行われている。
・今後、関係者説明会及び実行委員を対象とした最終打合せを行い、役割分担や当日の運営体制を確認する。
・当日の内容、進捗状況等について詳細に説明。

【自主的審議：Ｂ：地域コミュニティを維持するための仕組みづくりについて】

■　Ｂグループの協議概要

・過去約１０年分の「さんわ８チャンネル」で放映した８ミリ映像が４００～５００本保管されており、鑑賞会を実施したところ好評だった。地域の歴史や魅力を再認識してもらうことで地域活性化の契機にしたい。
・保存媒体の問題として、映像はＤＶＤＣＡＭ等の専用機器でしか再生できないため、デジタル化が必須だが、デジタル化は実時間での作業が必要で工数が大きいこと、費用負担や再生形式（ＤＶＤ／汎用ファイル形式）など実用性を確保するための選定が課題である。

■　質疑応答

・質問／意見：保存媒体は誰でも再生できるのか。味覚祭や文化祭で流すのは可能か。
　回答：データ量の関係で DVD 化はできない。パソコンとプロジェクターがあれば、三和まるごと味覚祭などでも鑑賞することができる。
・質問／意見：今後は保存・再生形式の標準化（誰でも再生できる形式）と保存内容の優先順位の決定、費用負担の検討が必要だと思う。

【その他】

■　事務局より説明

（多世代交流プレイス設置検討委員会の公開について）

・当面の会議は非公開とする方針である。理由は、検討内容がまだ政策立案の初期段階にあり、公開により報道機関や一般傍聴者の存在が円滑な合意形成を阻害する恐れがあるため。
・ただし、最終決定（設置を行うと判断した場合）後は検討委員会を公開する方向で検討する。

（市民の消火栓使用に伴う保険制度について）

・第５回の地域協議会で防災危機管理部長から市民の消火栓使用について説明があった際に、装備が不十分なまま消火活動に従事した場合の保険適応について質問があった。

共済窓口である市町村総合事務組合に確認したところ、「一般住民に限らず、消防団であっても、仮に装備がないまま消火活動に当たり、怪我等をしても保険適用される。」との回答があったので、報告する。

■　星野委員より説明

（１１月２８日開催される防災関連の勉強会について）

・チラシ（茂木委員等作成）を委員に配付した。星野委員を中心に準備を進めている。講師の現地視察日を行うこと、講演内容を「災害を知る」ことから入る構成でお願いする段取りである。

■　髙橋会長より説明

（三和まるごと味覚祭の準備等の応援や賛助金について）

・前日と当日の応援について、委員からはできるだけご都合をつけていただきたい。参加報告については、配付した書面で提出してほしい。

・当初計画していたよりも様々な支出が出てきた。この事業は、地域の活性化に向けて、一生懸命何かを作っていてもなかなか販売できない方々への支援という意味もある。今、Ａグループの皆さんが、事業所などに出向いて説明をして理解を得ながら進めている。財源の確保ということで、三和まるごと味覚祭の賛助金の申し込みについて、委員のお知り合いの方々も含めてぜひ営業していただきたい。

【事務連絡】

・次回の地域協議会：１０月２６日（月）午後６時３０分～

９　問合せ先

三和区総合事務所　総務・地域振興グループ　TEL：025-532-2323（内線 215）

E-mail:sanwa-ku@city.joetsu.lg.jp

１０　その他

別添の会議資料も併せてご覧ください。